

平成30年度 第2次特別支援教育実施計画の取組について

立川市は平成29年3月に、第2次特別支援教育実施計画を策定しました。今年度、新規または充実した主な取組の内容および状況は次のとおりです。今後も、計画を踏まえ、特別支援教育の充実に取組んでいきます。

☎教育支援課 ☎(527)6171

内容	取組状況
就学相談の充実	就学に係る相談対応力の向上を図るため、29年度に就学相談を利用(30年4月に就学)した方を対象に、ご利用後の満足度等に関するアンケートを実施しました。集計結果やいただいたご意見を踏まえ、情報提供の在り方や相談の進め方についての改善を検討します。
中学校特別支援教室の導入準備	平成31年4月に一部の中学校に導入する特別支援教室「プラス」について、課題の把握や解決に向けた検討を行いました。教室設備や教育課程など開設に向けた準備を進めるとともに、教職員や保護者、生徒への理解啓発に取組みました。
幼保・小の円滑な引き継ぎ	同時期に策定した発達支援計画と整合を図りながら、子育て・保健・福祉等の関係部署からなる庁内組織において、情報連携のツールとなる「サポートファイル(仮称)」の導入に向けた検討を進めました。平成31年度中に配布し運用を開始します。
学校生活支援シート、個別指導計画の作成の推進	各計画に基づいた指導の充実や指導に対する評価の在り方等について、小・中学校に向け、指導・助言を行いました。来年度から中学校にも特別支援教室「プラス」が導入されます。今後も、保護者の理解を得つつ、計画的な指導の充実に向け学校とともに取組んでいきます。
校内委員会の充実	市内小・中学校の校内委員会を教育委員会が巡回し、児童・生徒や保護者への支援について学校と共に検討し必要な助言を行いました。また、学校生活支援シートや個別指導計画を活用した校内委員会の運営について特別支援教育コーディネーター等への助言を行いました。
教員の専門性の向上	東京都の「特別支援学級の専門性向上事業」を活用し、今年度新たに開級した知的障害特別支援学級を中心に、月2回程度、特別支援学校教員が巡回指導を行いました。具体的な指導・助言により、児童・生徒の実態把握から授業の組み立てなど、担任の指導力が向上しました。また、特別支援学校の校内見学や教材の活用研修、高等部での清掃技能検定の見学など、特別支援教育を幅広く取り上げる研修会等を実施しました。

2021年度までに 全中学校に 中学校特別支援教室『プラス』を順次導入します

立川市は、市立中学校9校中3校に情緒障害等通級指導学級を設置していますが、発達障害のある生徒がより早期に適切な指導・支援を受けられるよう、小学校に続いて中学校においても平成31年度から、巡回指導教員が在籍校に出向いて指導を行う特別支援教室に順次移行します。東京都のガイドラインに沿い、平成33年(2021年)4月までに全中学校に設置する予定です。

教室の愛称は「プラス」。学校生活にプラスアルファを提供できる場として、生徒を応援するプラスの役割として、一人ひとりの可能性がもっと広がるようにとの願いを込めました。

初年度となる平成31年度は、泉学級が設置されている立川第六中学校を拠点に、立川第九中学校へ教員が出向いて巡回指導を行います。「プラス」の導入後は、通常の学級の授業により多く参加できるようになるほか、巡回指導教員と在籍学級担任との連携が取りやすくなることで、通常の学級における特別支援教育に関するノウハウや発達障害に対する理解が進むことが期待されます。

生徒自身が安心して校内の「プラス」を利用し、学習上や生活上の困難さを軽減していけるよう、この機会に支援を必要とする生徒や保護者を身近に考えていただき、あたたかい見守りとご配慮をお願いいたします。

●平成31年(2019年)4月に導入する巡回グループ

拠点校	巡回校
立川六中	立川九中



●平成32年度(2020年度)以降の導入計画

平成32年度(2020年度)	立川三中、立川四中、立川五中、立川七中、立川八中
平成33年度(2021年度)	立川一中、立川二中

※特別支援教室が在籍校に導入されるまでの間は、引き続き学区の通級指導学級または拠点校の特別支援教室で指導を受けます。

なお、計画は31年2月現在のものであり、今後、変更になる場合があります。

☎教育支援課 ☎(527)6171

第10回 中学生「東京駅伝」大会が行われました!

平成31年2月3日(日)に、東京都教育委員会の主催により、味の素スタジアム内アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園特設周回コースにおいて、都内50の市・区・町が参加して第10回中学生「東京駅伝」大会が行われました。

今年度は、株式会社立飛ホールディン

クスから立川市選手団にユニフォーム、ウインドブレーカー、シューズ等の支援をいただき、結団式、5回の練習会を経て、本番に臨みました。市内9校の公立中学校と立川国際中等教育学校から選ばれた男女各21人の代表選手が、チーム一丸となってタスキをつなぎました。



☎指導課・内線2497

立川市立若葉台小学校の校章が決定しました

平成30年4月に開校した若葉台小学校の校章が決定しました。

平成30年4月から5月にかけて校章デザインの公募を行い、393作品におよぶ応募をいただきました。

全応募作品について、新学校設立検討委員会および立川市教育委員会定例会において協議を重ね、立川第九中学校在学の杉浦 璃々子さんの作品が選ばれました。

このデザインには、二つの小学校の統合が表現されており、「若葉に包まれてのびのびと育てほしい」という児童への思いが込められています。

☎学務課・内線2515

